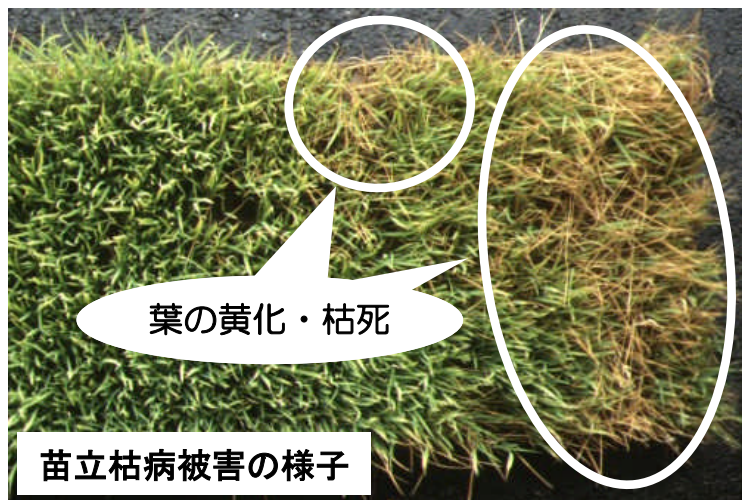
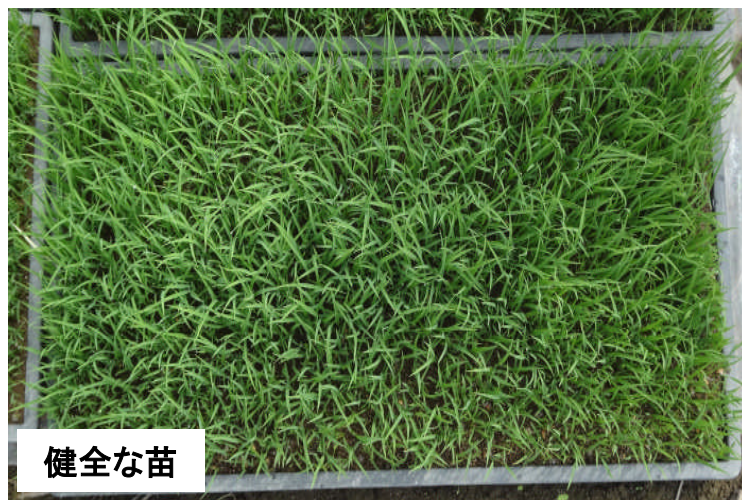




天候不順により水稻苗の生育が悪く、 診断依頼・相談が多く寄せられました。



苗立枯病被害の様子



健全な苗

今年は、育苗期間の気温の変動が激しく、やけ症状や苗立枯病が多く発生しました。天候不順によりダメージを受けたイネは病気や障害が出やすくなるため、いつも以上に管理に気をつけなければいけません。

例えば、浸種の積算温度が不十分なまま催芽の状態をよく確認せずに播種をしたことで、発芽まで時間がかかり、保温シートで被覆する期間が長くなってしまったケースが多く見られました。これにより、晴天時の急な温度上昇でやけ症状が発生しました。さらに、過湿状態に長期間おくことになり（育苗箱の消毒を行っていなかった場合は特に）苗立枯病が多く発生したようです。

健全な苗を育てるためには、種子の浸漬・催芽・播種後のハウス内の温度や水分管理をきちんと行うことはもちろん、育苗箱の消毒を毎年適正に行うことも非常に重要です。来年も、育苗を始める時期には健苗を育てるための情報提供を行っていきますので、天候不順に負けない苗を育てるように心がけてください。

トウモロコシ定植体験が行われました！ -食育活動支援-

4月30日、JA北つくば結城青年部が企画する食育活動で、結城市内の絹川小学校6年生がトウモロコシの定植を体験しました。

今回は、全4回の学習の2回目で、児童達は、前回の学習で自分達が播いた種子が大きな苗になっている様子に驚き、感心していました。

青年部長から、「今後の生育をよく見て、“食べ物ができる”過程を知って欲しい。」との話があり、児童達も大きくうなずき、意欲を示していました。

今後、普及センターは、座談会形式の勉強会の開催・収穫体験支援等、食と農の大切さを伝えていく活動を行っていきます。



ナシ摘果講習会を開催! -結城市・八千代町-

4月23日にJA北つくば結城市果樹部会において、4月26日にJA常総ひかり八千代地区梨部会において、大玉・高品質生産のための摘果法と今後注意すべき事項について講習会を開催しました。

今年は、4月中旬の降霜により果実表面の浮皮症状が見られるものの、程度は軽く、しばらくすると目立たなくなります。そのため、なるべく大きな果実を残すこと、また、開花期の強風・低温により、一部着果不良園も見られるため、丁寧な摘果を行うこと等を助言しました。

また、昨年発生が多かった黒星病について、今年は4月中～下旬にかけて落葉からの胞子の飛散が増加していることから、適切に防除するよう呼びかけました。



秋野菜チョウ目害虫の広域一斉防除に向け、発生予察のための調査を開始



結城市農業指導者連絡協議会（結城市、JA北つくば西部営農経済センター、当普及センター）では、毎年、秋野菜（レタス、キャベツ、ハクサイ等）のチョウ目害虫（ハスモンヨトウ、オオタバコガ）を効果的に防除するため、市全域での広域一斉防除に取り組んでいます。

今年は3月中の気温が高く推移し、チョウ目害虫の発生が早まることが懸念されるため、例年より1ヶ月はやい5月1日に市内12ヶ所で発生予察のためのフェロモントラップを設置しました。

今後、普及センターでは関係機関と連携しながらチョウ目害虫の発生予察を行い、より効果的な防除の時期を検討し、結城市内の広域一斉防除を推進していきます。

「心躍る初夏の楽しみ」

バラまつり 開催!



650種・3万株ものバラが咲き誇り、一面に広がる光景はまさに圧巻です。華やかで優雅なひとときをご家族と一緒に過ごしてみたいかがでしょうか。

場所：茨城県フラワーパーク

(石岡市下青柳200)

期間：5月25日（土）～6月23日（日）

開園時間：午前9時～午後5時まで

(期間中の土日・祝日は午前8時半～午後6時)

入場料：大人...740円 子ども...370円

連絡先：0299-42-4111

病害虫ノート

過度な心配は無用!?

-イネドロオウムシ-

幼虫は5月下旬から梅雨明けごろにかけて出現します。下の写真のように、葉をところどころ削るように食害して、幅広の白いかすり状の傷を付けます。こうした食害痕が多いと水田全面が白くみえることがあり、とても不安になりますが、重篤な場合を除いて夏期には新たな茎や葉が出てくるため生育は回復します。



加害の様子